



特別出演
唄・三味線・作曲
本條秀太郎

日本
そして世界

作曲
桑原ゆう



© Miyachi Takako

【第一部】鄙のグラフィティと江戸時代の流行歌

本條秀太郎 作曲 「繭子」

桑原ゆう 作曲 「吉原木遣りくづし」

本條秀太郎 作曲 「花の風雅」 桑原ゆう 編曲 (2026) 初演

【第二部】古代神話の世界

本條秀太郎 作曲 現代神楽 「スサノヲ頌歌」 桑原ゆう 編曲 (2026) 初演



Produced by HONJOH Hidetaro

(c)TAMAKI YOSHIDA

J-TRAD

Ensemble-MAHOROBA

日本音楽の魅力発信プロジェクト～和の文化活動を通じた若手育成～
日本人の記憶－和洋の音楽でうたう－

2026.

3.22(日) 14:00開演 (13:30開場)

青葉の森公園芸術文化ホール

全席自由（税込）一般3,000円 U-30 2,000円 小中高生 500円

※<U-30>、<小中高生>のチケットをご購入の方は、公演当日に年齢が確認できるものをお持ちください。確認する場合がございます。

※やむを得ない事情により、内容が変更になる場合がございますので予めご了承ください。

※未就学児の入場はご遠慮ください



ヴァイオリン
三瀬俊吾



ヴァイオリン
山縣郁音



ヴィオラ
甲斐史子



チェロ
竹本聖子

【チケット取扱い】

青葉の森公園芸術文化ホール 043-266-3511

インターネット予約



e+ (イープラス)

千葉県東総文化会館 0479-64-2001

千葉県文化会館 043-222-0201

千葉県南総文化ホール 0470-22-1811

e+ (イープラス) <https://eplus.jp>

お問い合わせ ● 特定非営利活動法人日本音楽国際交流会 <http://www.jtmusic.org>
info.nokkproject2024@gmail.com

主催：特定非営利活動法人日本音楽国際交流会、公益財団法人千葉県文化振興財團

助成：文化芸術活動基盤強化基金（クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業）

後援：千葉県教育委員会、千葉市、千葉市教育委員会、邦楽ジャーナル、

日本伝統文化振興財團

Japan
Creator
Support
Fund
FOR CREATORS

日本人の記憶—和洋の音楽でうたう—

古には地続きであつた「日本」、大陸との繋がりから現代に匹敵する交流が文化を形成した。その日本の心をうたう—。

古代の神話から江戸の町唄まで、人々の暮らしや祈りの記憶を音にのせて紡ぐ「日本人の記憶—和洋の音楽でうたう—」

「日本音楽の魅力発信プロジェクト」育成対象者であり、箏・三味線・尺八・囃子を擁する〈J-TRAD Ensemble MAHOROBA〉と、弦楽四重奏の精鋭たちが響き合い、和と洋が交錯する新たな音世界を描き出します。

第一部では、各地の機織り唄を組み唄にした《繭子》と江戸の粹と風雅を映した《吉原木遣りくづし》《花の風雅》を、第二部では神話の息吹を感じさせる《スサノヲ頌歌》を上演。

伝統を受け継ぎながら革新を恐れぬ作曲家・本條秀太郎と、氣鋭の芥川也寸志サントリー作曲賞受賞者・桑原ゆうによる作品群が、時代を超えて「日本の歌」の新たな姿を浮かび上がらせます。

受け継がれる音の記憶とともに、未来へと息づく“日本の美”をどうぞご体感ください。

日本音楽の魅力発信プロジェクト～和の文化活動を通じた若手育成～

日本音楽国際交流会による、伝統音楽に携わる若手演奏家や制作者を育成し、国内での継承を図るとともに、海外への魅力発信を進めるプロジェクト。2026年にはアメリカ（邦楽アンサンブル）、ヨーロッパ（三曲）、東南アジア（雅楽）での海外公演を実施予定である。

<育成対象者>

J-TRAD Ensemble MAHOROBA



ほんじょう ひでじろう
本條秀慈郎（三味線）

本條秀太郎師に師事。桐朋学園短期大学部卒。ACC フェローで NY 留学。文化庁文化交流使（20曲委嘱新作 / 各国30公演）。芸術選奨新人賞。芸術祭新人賞。ウィグモアホールリサイタル、BBC ラジオ出演。ジョン・ケージも務めた UC Davis AIR 選出。N響等国内外オーケストラと多数共演。「SPICE quartetto」「淡座」メンバー。



ほんじょう ひでえいじ
本條秀英二（三味線）

アメリカ生まれ。10歳より三味線を始める。2009年より本條秀太郎に師事し、本條秀英二の名を許される。桐朋学園芸術短期大学芸術科音楽専攻日本音楽修習を卒業し、本條秀太郎のもとで現代音楽を学ぶ。



かわむら きよと
川村葵山（尺八）

尺八を父、川村泰山に師事。NHK 邦楽技能者育成会卒。都山流大師範。くまもと全国邦楽コンクール最優秀賞受賞、都山流全国本曲コンクール金賞受賞。「むつのを」、「The Shakuhachi 5」等に所属。



きむら まや
木村麻耶（唄・二十五絃箏）

幼少より優勝歴多数。北海道新聞社賞、釧路奨励教育長賞、平成24年度別海町文化奨励賞、第14回佐治敬三賞受賞。多くの国内外公演により招請され、審査員も務める。木村麻耶オリジナル CD『光る空』好評発売中。



よしざわ のぶたか
吉澤延隆（箏）

2008年第15回賢順記念全国箏曲コンクール第1位・賢順賞を受賞。現在、東京文化会館ワークショップ・リーダーとして幅広い世代へのワークショップ活動の他、異なる分野のアーティストや専門家をつなぐコンサート・プロジェクト「NOBU-LAB.」（ノラボ）主宰。滋賀県立文化産業交流会館「邦楽専門実演家養成事業」講師。



かただ きさぶろう
堅田喜三郎（囃子）

1975年生まれ。東京都出身。青山学院大学卒業後、堅田新十郎師に師事、人間国宝堅田喜三郎のものと本格的に演奏活動を始め、2004年5代目堅田喜三郎を襲名する。現在、歌舞伎公演、舞踊公演等、様々な演奏活動を行っている。長唄協会会員、若獅子会。



くわばら ゆう
桑原ゆう（作曲）

日本の音と言葉を源流から探り、文化の古今と東西をつなぐことを主軸に創作を展開する作曲家。第31回芥川也寸志サントリー作曲賞受賞。KAIROS（ウイーン）より作品集をリリース。国立劇場、ルツェルン音楽祭等、国内外で多くの委嘱を受け、世界各地で作品を発表。淡座メンバー。現在、国立音楽大学准教授。東京藝術大学、洗足学園音楽大学非常勤講師。

<https://3shimai.com/yuu/>



みせ しゅんご
三瀬俊吾（ヴァイオリン・淡座）

東京音楽大学卒業後、桐朋学園大学院大学修了。第1回横浜国際音楽コンクール第1位。パリ・エコール・ノルマル音楽院へ留学。2010年帰国。一般社団法人淡座代表。mmm...、リレーション'70、目黒弦楽四重奏団などに所属。現在、桐朋学園芸術短期大学特任講師。



たけもと せいこ
竹本聖子（チェロ・淡座）

東京音楽大学卒業、同大学院修士課程修了。国内外作曲家の作品の世界初演を多く務めるほか、オーケストラ、室内楽、演劇、ミュージカル等で演奏活動を行っている。「淡座」「オーケストラ・トリビュート」「アンサンブル プラットフォーム」メンバー。



かい ふみこ
甲斐史子（ヴィオラ）

桐朋学園音楽大学卒業、同大学研究科修了。現代音楽演奏コンクール「競奏V」第1位入賞。第12回朝日現代音楽賞受賞。2003年度青山パロックザール賞受賞。ドイツ・ダルムシュタットにて、クラインヒュッティナー賞受賞。アンサンブル・ノマドメンバーとして、第3回佐治敬三賞受賞。神奈川県立弥栄高等学校、東京藝術大学（ソルフェージュ科）非常勤講師。



やまがた いくね
山縣郁音（ヴァイオリン）

桐朋女子高等学校音楽科、同大学卒業。同研究科修了後、イタリアにてディプロマを取得。アルネ・アカルテット・Asian Modern Symphony Orchestra メンバー。桐朋学園大学附属子どものための音楽教室非常勤講師。



ほんじょう ひでたろう
本條秀太郎（唄・三味線）

1971年に本條流を創流「俚奏楽」を発表。古典の枠に留まらず、様々なジャンルの音楽、奏者と共に演じ、数多くの国内外公演を行なっている。端唄、民謡、民俗芸能の採譜・発掘、CD制作や演奏活動も精力的に行っている。定期公演として、俚奏楽、江戸端唄～江戸を聞く～、謡哥～伝えゆく詩達～、現代音楽三味線「Beads」を開催。97年日本舞踊アーティスト公演「俚奏樂後援」を作曲・演奏。2008～13年演劇界の鬼才サイモン・マクバーニー演出「春琴」に参加。著書「本條秀太郎 三味線語り」淡文社。2007年紫綬褒章受章。

青葉の森公園芸術文化ホール

〒260-0852千葉県千葉市中央区青葉町977番地1 TEL : 043-266-3511

- JR千葉駅中央改札（東口）より 2番のりば 星久喜台経由「ハーモニープラザ」下車 徒歩約8分
- JR蘇我駅東口より 7番のりば 「中央博物館」下車 徒歩約10分
- 京成千原線千葉寺駅より 2番のりば 大学病院行き「芸術文化ホール」下車 徒歩約5分
- 京成千原線千葉寺駅より 徒歩約15分

